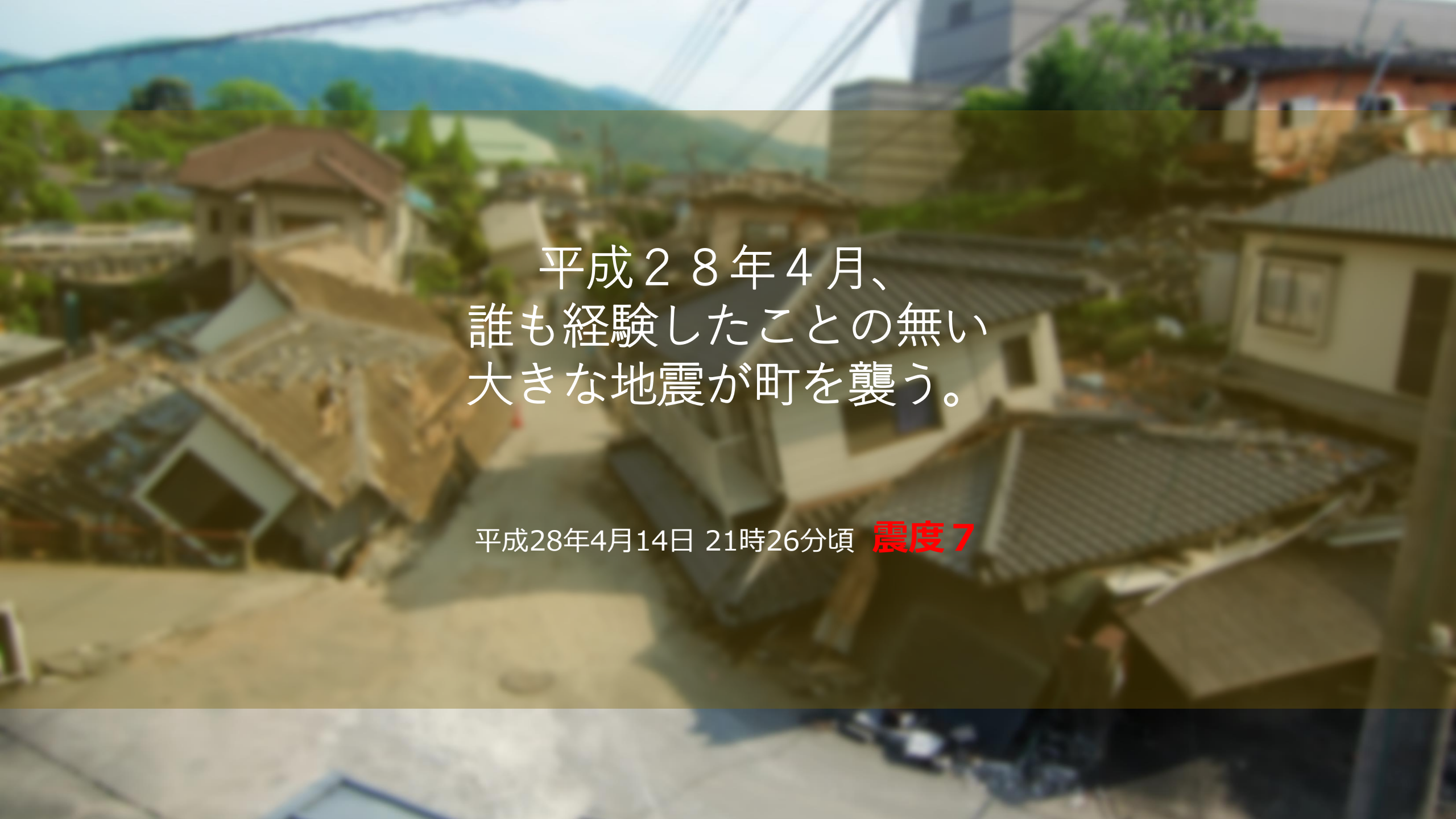


H28熊本地震で 学んだ3つの大切なこと

-益城町が学んだ教訓-

An aerial photograph showing a residential neighborhood in Japan. The houses are tilted at various angles, indicating significant ground movement during an earthquake. The roofs are dark, and the walls are light-colored. In the background, there are green hills and some utility poles. The overall scene is one of destruction and displacement.

平成28年4月、
誰も経験したことの無い
大きな地震が町を襲う。

平成28年4月14日 21時26分頃 **震度7**

地震は、突然やってくる。

H28熊本地震以前の
地震発生確率 (30年以内)

0～0.9%

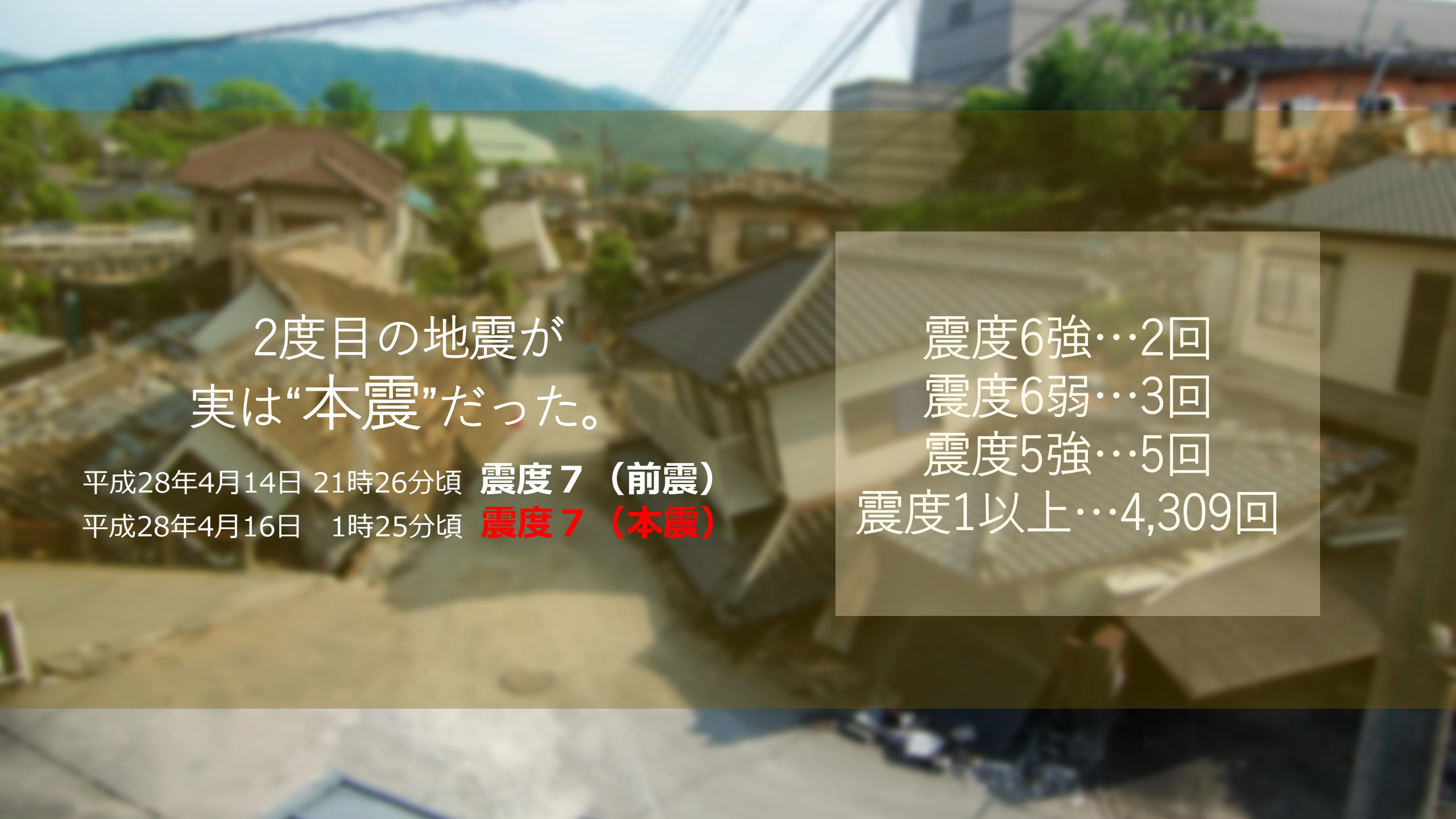
布田川断層帯 (布田川区間)

※地震調査研究推進本部HPより



地震が起こると
思っていた人は、
ほぼ皆無だった。

地震は、1度で終わらない。



2度目の地震が
実は“本震”だった。

平成28年4月14日 21時26分頃 **震度7 (前震)**

平成28年4月16日 1時25分頃 **震度7 (本震)**

震度6強…2回
震度6弱…3回
震度5強…5回
震度1以上…4,309回

地震（災害）はいとも簡単に、
大切なものを奪う。

家屋被害



10,584棟

全壊 3,026棟

大規模半壊・半壊 3,233棟

一部損壊 4,325棟

計 10,584棟

(H30.1.12時点)

家を失った人

(仮設住宅入居者数)

…約 3 人に **1** 人

人口推移

約1,500名減

	人口	世帯数
H28.3末	34,499人	13,455世帯
H29.3末	33,001人	12,945世帯
減少数	▲1,498人	▲510世帯

…約23人に1人

守りたくても守れない事がある。

人的被害

175名

直接死 20名

震災関連死 21名

重傷 134名

(H30.1.12時点)

道路が寸断して助けに行けない。



連絡が繋がらない。



熊本地震の
教訓

1

災害時、親が子どもを守れる保証はない。

自分の身は自分で守ること。

A photograph of a large, modern interior space, possibly a school cafeteria or gymnasium, that has suffered a major structural failure. The ceiling has collapsed, and the floor is covered in a thick layer of debris, including wooden planks, metal beams, and other building materials. In the background, there is a large mural on the wall. The scene is dimly lit, with a yellowish tint.

今、ここで災害が起こった場合、
あなたならどこに避難するか。

避難所
公園
学校
etc

A photograph showing the aftermath of an earthquake. In the foreground, a road is severely damaged with large sections of asphalt missing and concrete barriers overturned. Several soldiers in camouflage uniforms are standing on the road, and a bulldozer is visible on the right. In the background, a blue road sign points towards '大津空港' (Osaka International Airport) and '高森' (Takamori). The scene is set against a backdrop of green trees and a hillside.

どの道を通って逃げるか。
それとも
逃げずにじっとしておくか。

災害時に、マニュアルや統一的な正解は無い。

（その時の状況によって、答えが違う。）

熊本地震の
教訓

2

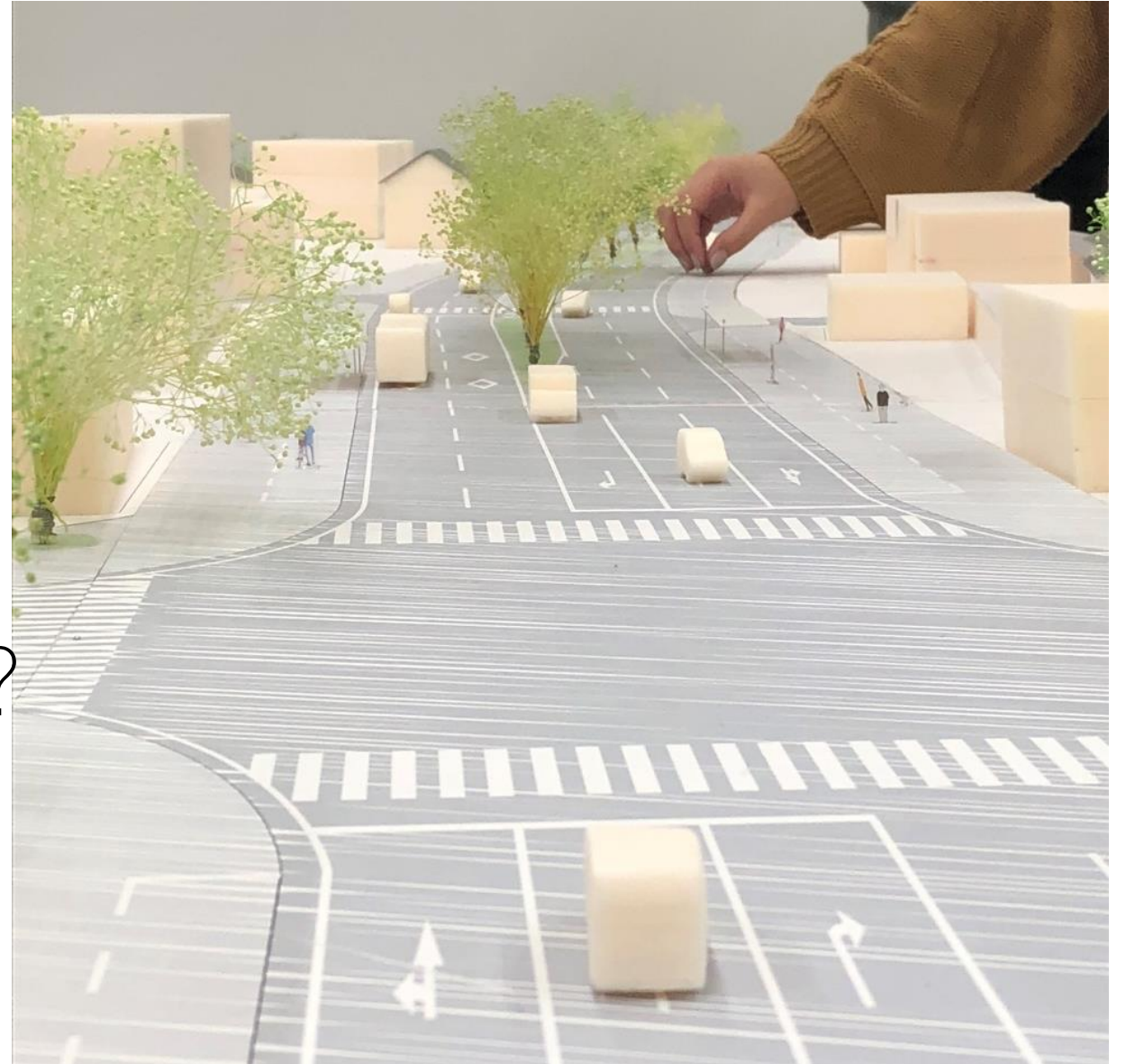
身を守る術を日頃から考えておくこと。

身を守るために、必要な知識を身につけること。

あなたの家は安全？

通学路は安全？

近所に危険な箇所は無い？



危険な箇所を知ろう。

自分の周りの環境を
よく観察しよう。

災害時の行動について
家族と話し合っておこう。

熊本地震の
教訓

3

あなたの助けを必要とする人がいる。

お互いに支え合うこと。

A photograph of a crowded indoor space, possibly a shelter or community center. The room has wooden walls and large windows. Many people, including men, women, and children, are gathered throughout the space. In the foreground, a man in a grey sweater stands with his back to the camera, looking towards the crowd. To the left, there are water dispensers and a sink. In the background, people are standing in lines or groups, some looking at the camera. The overall atmosphere is busy and crowded.

避難時は一人では
出来ないことが沢山ある。

消防団の活躍

人命救助
巡回パトロールによる
危険箇所の確認
交通誘導
支援物資の搬送
etc...



熊本地震の
教訓

1

災害時、親が子どもを守れる保証はない。
自分の身は自分で守ること。

… 自助

2

身を守る術を日頃から考えておくこと。
身を守るために、必要な知識を身につけること。

… 備え

3

あなたの助けを必要とする人がいる。
お互いに支え合うこと。

… 共助